

令和4年度 第1回 学校運営協議会

参加者：校長 中井 宏典
委員 東崎 康嘉 近畿大学 理工学部 教授
川野 充信 八尾商工会議所 事務局次長
増本 哲男 東大阪商工会議所 常務理事 事務局長
正木 猛司 同窓会長 正木建設株式会社 代表取締役会長
島 未央 介護老人保健施設 プレジャーライフ 事務長
中村 智恵美 令和4年度 P T A会長

事務局	佐藤 義勝	教 頭		石川 浩司	事務長
	佐伯 陽介	首 席	千田 充弘	首 席	川崎 哲也 首 席
	笹山 秀樹	機械系長	杉本 岳久	電気系長	渡邊 千佳 建築設備系長
	芦田 和光	教務部主任	西本 貴博	総務主任	
	藪田 大輝	生活指導主事	渡邊 里子	保健指導主事	江原 義哉 生徒会顧問
	小池 清隆	進路指導主事			
	林 克佳	3学年主任	岡 雄一郎	2学年主任	西村 康平 1学年主任

- 1 学校長挨拶
 - 2 学校運営協議会 委員の紹介。
 - 3 事務局紹介
 - 4 運営協議議題
- 1) 令和4年度 学校経営計画について

① 5S+2A を徹底した基礎学力

- ・1年生対象に実施している個別指導を2,3年生にも拡大し実施できるよう校内の指導体制を整える。
- ・学校教育自己診断の学習指導について生徒肯定率80%以上をめざす。(R3:79%)
- ・学校生活の様々な場面(授業、学校行事、進路指導、など)における規範意識の育成。

② 智徳体(確か学力、豊かな心、健やかな体)を調和よくはぐくむ。

③ デュアルシステムの企業連携により現場スキルを身につけさせる。

④ 生徒一人ひとりを尊重し、人間性豊かなエンジニアを育成する。

2) 令和5年度 教科書選定理由書

5 連絡事項

学校の取組み(分掌・系・学年資料)

教 務：基礎学力向上。(クラッシーを使用)授業力向上。新学習指導要領への移行。

I C T 係：校内におけるICT機器の充実。デジタル教材等を活用する授業力技術の向上。

総務係：オンラインを活用した円滑な行事運営。ユーチューブのオンライン配信。

PTA 校内外活動。新入生物品購入。食堂の利用者減少。利用促進キャンペーンの実施。
保 健：安全で安心な学びの場づくりの推進。保健安全。環境整備。
生徒会：学校行事の復活。部活動加入率の増加。ボランティア活動ペットボトルキャップ回収再開。

18 歳、成人に関わる指導はどのように実施しているのか？

⇒ 主に社会科の授業で教材を活用して実施予定。

進路指導：キャリア教育の推進と充実。自立し、社会で生き抜く力の育成。

希望就職の実現・定着に向けた教育。基礎学力の向上。就職希望者の指導体制の確立。

進学希望者の指導体制の確立。卒業後の進路調査と対策。情報発信の充実。個々の生徒に応じた進路指導体制の整備。

図書室の役割を担い生徒の対応。奨学金担当と進学担当が連携して対応をしていく。

電 気：進路実現に向けた、生徒への支援・指導。電チューブの発刊。体育祭総合優勝。

機 械：5S+2A。機械系のものづくりに必要な基礎的知識・技術を学ぶ

建築設備：安全教育の継続。点呼時の安全再確認。資格取得検定合格指導強化。

技能五輪 10 年連続出場。生徒 2 名が代表候補。進路指導の充実。

3 年：あたりまえの徹底。自己表現力と主体性を高め、進路を実現する。

2 年：進路決定 100%。5 年後の自分に責任を持った行動を。

1 年：あたりまえの徹底。社会人になるための基礎を身につける。

工科 PR：ものづくりワークショップの開催（イオン鶴見、八尾アリオ）

デュアルシステム：R6 年度本格実施に向けての試行。

6 その他

三菱みらい育成財団からの援助。PBL 活動について 100 万円の寄付。

第 2 回は、11 月下旬に開催予定。